

# 個性光らせ突き進め

## キンスポ



今村圭吾  
自由形

自由形を泳ぐ今村

大蔵礼生  
平泳ぎ

平泳ぎを泳ぐ大蔵

大嶋千桜  
自由形

ガッツポーズをする大嶋

2025年8月15日(金) 特別号  
発行 近大スポーツ編集部  
〒11-1384 東京都文京区湯島4丁目11-13  
編集長 片岡花菜

# 破天荒

関西インカレ男子11連覇 女子10連覇

昨年度、「史上最強」と称され、全日本インカレで男女ともに総合優勝を目標に掲げた近畿大学水上競技部。惜しくもその夢には届かなかつたが、男子総合2位、女子5位という堂々たる成績を残し、全国の舞台で存在感を示した。新体制となった今年も関西王者として磐石の力を誇り、全日本インカレでこれまでの集大成を示すべく挑戦を続けている。

### 新チーム始動

今年度、男子主将を務めるのは森田遥大(経営4)。新チームについて「一人ひとり個性があり、みんなやるときには一致団結して盛り上がる。最高のチーム」と胸を張る。掲げたスローガンは「破天荒」。これは、これまで逃げてきたことや避けてきた課題にも果敢に挑戦し、全員で目標を達成していくという決意を込めたものだ。「煌」という文字には、メンバーそれぞれが個性を輝かせ、明るく元気なチームを築いていく願いが込められている。

### いざ全日本へ

水泳は個人種目が中心だが、インカレは学校対抗の団体戦でもある。そのため、練習後のミーティングなどでコミュニケーションを深め、チームワークの向上に力を入れているという。今年の全日本インカレの目標は男子総合3位、女子5位。栗原は「去年よりも弱いと言われているが、そこを補う意味でも団結して戦っていきたい」と力強く語る。集大成となる全日本インカレが目前にせまっている。それぞれの平泳ぎでは佐藤翼(国際4)が優勝、山口哩駆(経2)が2位に入り、森田

田も「全国でも戦える種目」と手応えを語った。結果として男子は大会11連覇、女子は10連覇を達成し、関西の頂点に君臨し続けている。

全日本インカレに向け、森田が注目選手に挙げるのは今村圭吾(経営4)。「ずっと安定してベストに近いタイムで泳ぎ続けている。4年生の意地も含め、必ず活躍してくれる」と信頼を寄せた。一方、女子主将の栗原望(経営4)は、FI SUワールドユニバーシティゲームズ日本代表として世界を経験した大嶋千桜(経営2)の名を挙げた。さらに、大蔵礼生(経営3)、OWS(オーブンウォータースイミング)でも活躍する高木陸(経営3)など、世界レベルの選手を擁する層の厚さも近畿大の大きな武器だ。



# 勝たなおもらない

レイアウト 岩井美晴、鹿間透子、瀬川凜、藤井海帆